

一般社団法人日本ファームステイ協会よりご案内

【臨時号 JPCSA 通信】

2019年10月4日発行

会員各位

一般社団法人日本ファームステイ協会事務局です。
いつも当会の活動にご理解頂き、誠にありがとうございます。

今回は臨時号として、下記のお知らせをお届けいたします。

- 1) JA 全農提供 新ラジオ番組「農泊しようよ！」の放送開始について
- 2) 百戦錬磨の「農泊」の取り組みが、第5回ジャパン・ツーリズム・アワードにて「国土交通大臣賞」を受賞しました！
- 3) 「ツーリズム EXPO ジャパン 2019 大阪・関西」について
- 4) 世界農業遺産「大崎耕土」ツーリズム研修会のご案内

<JPCSA 最新情報>

◆JA 全農提供 新ラジオ番組「農泊しようよ！」の放送開始について

JA 全農が提供する新ラジオ番組「農泊しようよ！」(TOKYO FM)が、10月5日より放送開始します。

「農泊しようよ！」は、ラジオを聴いたリスナーに対して農泊を知っていただく、興味を持っていただくための番組です。農山漁村において日本ならではの伝統的な生活体験や地元の人々との交流を楽しむことができる滞在型旅行である農泊の良さを「泊まる」「楽しむ」「味わう」といった切り口で紹介していきます。

番組でパーソナリティーを務めるタレントの川瀬良子氏が、各地の農泊を実体験し、そこで感じたこと(「旅行」との違い、「農泊」の良さ等)をレポートしていきます。また、農泊の魅力を語れるゲストとして、初回から第3回の放送において、「農泊の達人」として、日本ファームステイ協会代表理事 上山康博が出演し、農泊の多面的な楽しみ方や各地の取り組み等を紹介し、番組を盛り上げていきます。

【番組の概要】

1. 番組名：農泊しようよ！
2. 放送局：TOKYO FM
3. 放送日時：10月5日(土)～ 毎週土曜午前09:55～10:00
※関東ローカルでの放送です。
4. 番組パーソナリティー：川瀬良子氏

お問い合わせは、
JA全農 暮らし支援事業部 地域活性事業課 谷口まで
TEL：03-6271-8357

◆百戦錬磨の「農泊」の取り組みが、第5回ジャパン・ツーリズム・アワードにて「国土交通大臣賞」を受賞しました！

本協会幹事会社の株式会社百戦錬磨の取り組み「農泊と世界をつなぐ地域活性化サービス」が、ツーリズム EXPO ジャパン（公益社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本旅行業協会、日本政府観光局（JNTO））主催、第5回「ジャパン・ツーリズム・アワード」にて、「国土交通大臣賞」を受賞いたしました。



STAY JAPAN (<https://stayjapan.com/>) における農泊施設

本協会幹事会社の百戦錬磨は これまで「明確すぎる移動目的の創造」というコーポレート・ミッションの下、地域の個性溢れるユニークな宿泊施設のプロデュースや運営、自社サイト「STAY JAPAN (<https://stayjapan.com/>)」等を活用した「農泊」領域での取り組みを行って参りました。

「農泊」の概念は、単に農家民泊だけを指すのではなく、英語で言う Countryside Stay、すなわち都市民泊以外の、農山漁村地域における宿泊全般を指します。この定義に基づき、これまで農家民泊、漁師民泊、寺泊、別荘泊、古民家泊、学校泊、空手泊など実に多様なタイプの「農泊」をサポートし、当初の様々な難しさや上手いかないことを克服し、現在確実な成功モデルが生まれてきています。

秋田県では、インターネット集客をサポートして海外の個人旅行者から人気を博し、繁忙期にはほぼフル稼働になっている農家民泊があります。ここでは7割が外国人、半数がアジア、半数が欧米圏の方となっています。

また宮城県では、空き家（別荘）を宿泊施設化することにより、オーナーの収支がマイナス（管理費）から、大幅なプラス（宿泊収入）に変わった事例もあります。

いずれの事例でも大きな投資を伴わず、地域固有の未活用資産に着目し、それを旅行者視点（特にインバウンド視点）で魅力を再発見し、磨き込むことで、新たな経済を生むことに成功しました。

またこれらの事例は全て、現地運営を現地のホスト（個人）や地域の管理会社・企業が担っています。成功に向けては、百戦錬磨単独の力だけでは難しく、そこには必ず地域との連携が必要不可欠です。

本協会では、百戦錬磨が取り組んできたこれらの成功モデルをより多くの地域に広げる活動を進めております。今後も地域と二人三脚で、地域ならではの個性を活かしたユニークステイを推進し、世界中の旅行者と地域の交流が活性化するよう「農泊」領域での取り組みを行って参ります。引き続き、本協会へご支援のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

社名	株式会社百戦錬磨
URL	https://www.hyakuren.org/
所在地	宮城県仙台市青葉区本町 2-17-17（本社所在地） 東京都千代田区外神田 2-18-20（東京事務所）
代表取締役社長	上山康博
設立	2012年6月19日

◆「ツーリズム EXPO ジャパン 2019 大阪・関西」について

「ツーリズム EXPO ジャパン」は“世界のツーリズムをリードする”総合観光イベントとして、観光業界はもとより様々な産業関係者が「観光」を軸に集結し、海外・国内・訪日の観光振興、地域活性化を目指すとともに、参画する事業者各々が発展成長していくために、知見共有や議論をする機会、ビジネスの場としての展示会や商談会、消費者向けのプロモーション、ダイレクトマーケティングの機会を提供しています。

「ツーリズム EXPO ジャパン 2019 大阪・関西」は、2019年にG20、ラグビーW杯、2021年ワールドマスターズゲームズ、2025年日本国際博覧会などのビッグイベントが開催され、世界の注目が集まる大阪をゲートウェイとして関西圏に観光客を集める起爆剤となる総合観光イベントで、大阪初開催！！世界最大級 旅の祭典！です。

「ツーリズム EXPO ジャパン」開催概要はこちらのページ：

<https://www.t-expo.jp/biz/exhibit/>

観光業界はもとより様々な産業関係者が各国から集うこのイベントに、全農と支援企業である百戦錬磨、農協観光などが、JAグループとして初めて、農泊のブースを出展します。これまでに培ってきたさまざまなタイプの農泊支援のソリューションの展示を積極的にPRしてまいります。

会員の皆様のご来場を心よりお待ちしております。

<自治体会員からのお知らせ>

◆世界農業遺産「大崎耕土」ツーリズム研修会のご案内

参加費無料！第二部要申込！！

平成29年12月、大崎地域1市4町（大崎市・色麻町・加味町・涌谷町・美里町）を対象に世界農業遺産に認定されました。大崎市では、大崎耕土の水管理基盤・食文化・農耕文化・居久根の景観の価値を広く伝えるため、観光客を呼び込むことを検討しています。

地域の価値を見直し、交流人口・関係人口を呼び込むためにはどのようにしたらよいのか、地域の皆様から情報をいただきながら、共に受け入れについて考えたいと思います。想定される成果は、来訪者に提供できる複数のプログラムをつくることです。

食の体験や行事の体験など、深く地域のことを知ってもらえる仕掛けとして、今後地域の皆様が来訪者を受け入れる際に活用いただきたい内容となっております。

テーマ：世界農業遺産「大崎耕土」ツーリズム研修会のご案内

ゆとりある滞在型大崎耕土ツーリズムを、インバウンドや地域ブランディングの視点から考える

講 師：

東洋大学名誉教授	青木辰司氏
フルフォードエンタープライズ CEO	アダム・フルフォード氏
日本ファームステイ協会代表理事 株式会社百戦錬磨 代表取締役社長	上山康博
世界農業遺産等専門家会議委員	大和田順子氏

日 時：令和元年10月11日（金）13時30分～17時00分

第一部：おおさき産業フェア 2019 トークセッション

時 間：13時30分～14時30分（参加自由）

会 場：大崎市古川総合体育館（大崎市古川旭4丁目5-2）

「ゆとり滞在型大崎耕土ツーリズム」について、本協会代表理事上山康博と評議員青木辰司先生をはじめ、4名の講師で議論します。他地域の事例やインバウンドの視点から見た可能性など、ツーリズムとして事業展開するにあたってのポイントをわかりやすくお伝えします。

第二部：世界農業遺産「大崎耕土」ツーリズム研修会

時 間：15時00分～17時00分（要申込み）

会 場：大崎市建設産業会館（大崎市古川旭4丁目3-24）古川総合体育館隣接プログラム

①ワークショップ（意見交換）

講師を囲んで、参加された皆様で、今後の「大崎耕土」ツーリズムについて意見交換を行います。これまでやってきたこと、これからやってみたいこと、思いや悩みを共有します。

②とりまとめ・情報提供

「ゆとりある滞在型大崎耕土ツーリズム」の可能性について、皆さまの意見をふまえて、本協会代表理事上山康博と評議員青木辰司先生が講師として登壇いたします。総勢4名の講師による総括と、世界農業遺産認定の他地域の事例やインバウンド視点からの可能性などを情報提供します。

【お申し込み先】

大崎市産業経済部産業政策課内

世界農業遺産推進室（大崎地域世界農業遺産推進協議会事務局）

TEL:0229-23-2281, FAX:0229-23-7578

E-Mail: osaki-giahs@city.osaki.miyagi.jp

【第二部申込方法】※第一部参加自由。第二部（15時30分から）参加ご希望の方はメール: osaki-giahs@city.osaki.miyagi.jp

FAX:0229-23-7578

メール、FAXにて、以下内容をお伝えください。

① 氏名 ②住所（お住まいの地域） ③連絡先電話番号もしくはメールアドレス
一度に複数名お申込みいただいても結構です。

【世界農業遺産「大崎耕土」ツーリズム研修会】詳細はこちらのページ：

<https://jpcsa.org/press/osakikoudo-191003.pdf>

いかがでしたでしょうか？

最後までお読みいただきありがとうございました。

日本ファームステイ協会では、メールマガジン上で、会員様が実施されます農泊関連イベントや研修の告知を承ります。掲載のご希望がございましたら、送信希望月の1カ月前までに下記 E-mail へご連絡をお願い致します。受信後、担当の者よりご連絡をさせていただきます。

=====

発行：一般社団法人日本ファームステイ協会事務局

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-17-2

(TEL:03-3526-2493 / FAX:03-3526-2494)

ホームページ URL はこちら：<https://jpcsa.org/>

問い合わせ先 E-mail：info@jpcsa.org

=====